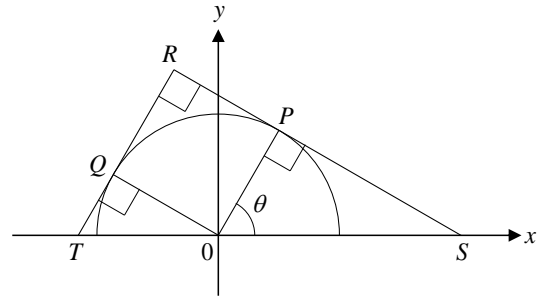


2003 年京大後期文 3

$P(\cos\theta, \sin\theta)$ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) とする。

P における C の接線と、 Q における C の接線の交点を R とする。

P における C の接線と、 x 軸の交点を S とし、
 Q における C の接線と、 x 軸の交点を T とする。



$\angle POQ$ が直角であるから、 $\angle PRQ$ も直角である。

四角形 $OPRQ$ は一辺の長さが 1 の正方形である。

$PS = \tan\theta$ であり、相似性より、 $QT = 1 \times \frac{1}{\tan\theta} = \frac{1}{\tan\theta}$

三角形 RST の面積は $1 \times 1 + \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot \tan\theta + \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot \frac{1}{\tan\theta} = \frac{1}{2} \left(\tan\theta + \frac{1}{\tan\theta} \right) + 1$

ここで、相加平均・相乗平均の関係により $\tan\theta + \frac{1}{\tan\theta} \geq 2\sqrt{\tan\theta \cdot \frac{1}{\tan\theta}} = 2$

等号成立は $\tan\theta = \frac{1}{\tan\theta}$ $\tan^2\theta = 1$ $\tan\theta = 1$ $\therefore \theta = \frac{\pi}{4}$

したがって、三角形 RST の面積が最小になるのは、 $P\left(\frac{1}{\sqrt{2}}, \frac{1}{\sqrt{2}}\right)$, $Q\left(-\frac{1}{\sqrt{2}}, \frac{1}{\sqrt{2}}\right)$ のときである。

最小値は $\frac{1}{2} \cdot 2 + 1 = 2$ …… (答)